

小金井3・4・1 1号線に関する 意見交換会（第3回）

平成31年2月8日

議事次第

1. 開会 (19:00～19:05)

- 主催者挨拶及び参加者紹介

2. 資料説明 (19:05～19:40)

- 本年度に実施した交通量調査の報告 (15分程度)
- これまでに頂いた主な意見への回答 (10分程度)
- 今後の意見交換の進め方 (10分程度)

3. 意見交換 (19:40～20:30)

4. 閉会

～円滑な会の進行に、ご協力をお願い致します～

- ・限られた時間の中で、出来るだけ、多くの方と意見交換を行いたいため、ご発言は、簡潔にまとめて、お願い致します。
- ・意見交換が円滑に進むよう、発言者の意見を遮ったり、妨害する行為、批判等はしないよう、お願い致します。
- ・傍聴者の方は、ご発言をお控えいただきますようお願い致します。
- ・撮影、録音等をされる方は、個人情報、プライバシーの保護の関係から、他の参加者へご配慮いただき、取扱いには十分にご注意願います。
- ・配布資料等は、北多摩南部建設事務所のホームページにて後日公開する予定です。
- ・議事録は、個人情報、プライバシー保護の観点から、発言者の個人名等が特定できない方式で公開させて頂く予定です。

本年度に実施した交通量調査の報告

本年度に実施した交通量調査について

調査の目的

本調査は、小金井都市計画道路3・4・11号府中東小金井線周辺における交通状況を把握することを目的に実施

調査日時

平日及び休日の 7:00～19:00の(12時間)

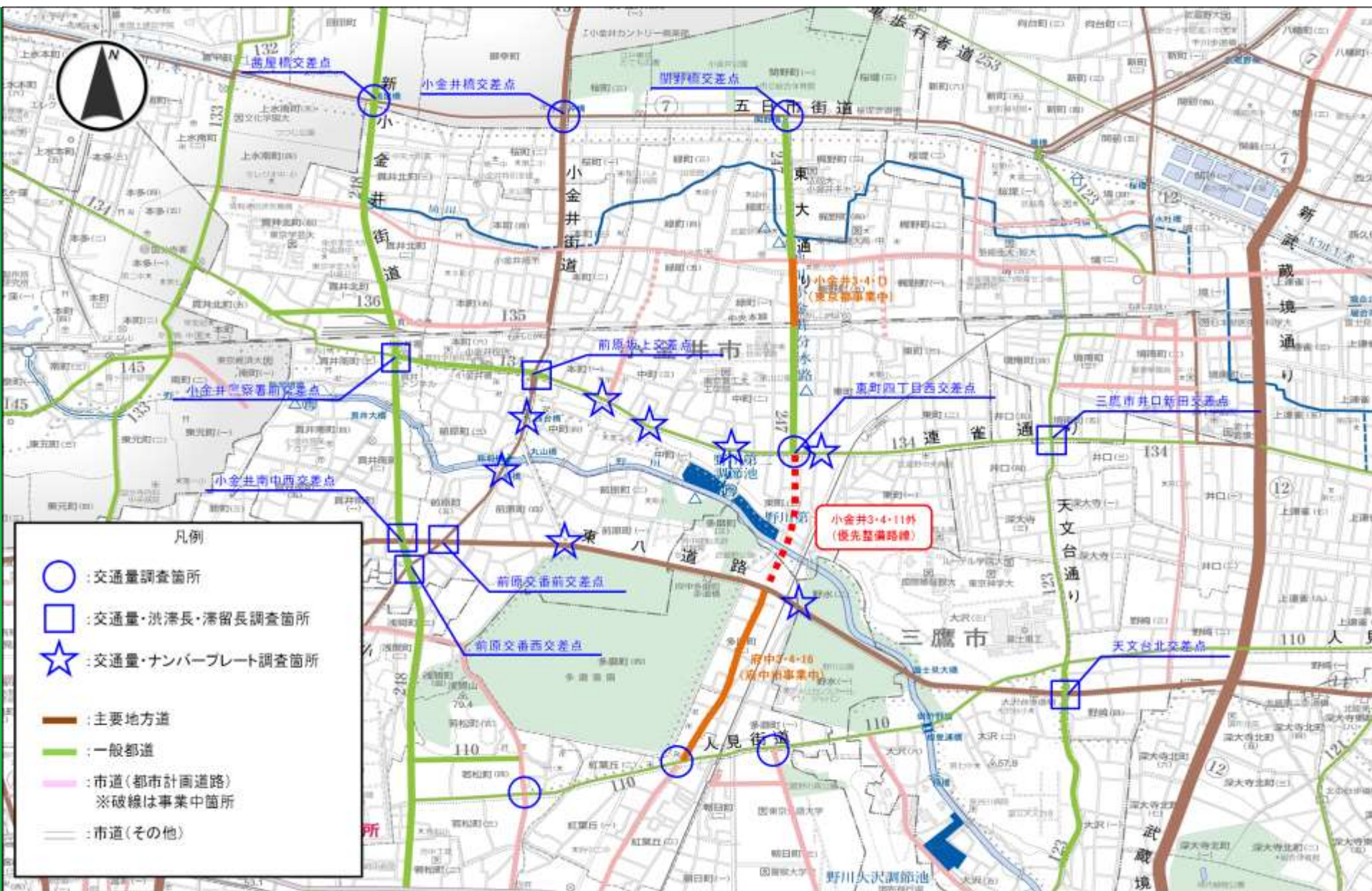
(交通量・ナンバープレート調査 6:00～18:00(12時間))

調査項目

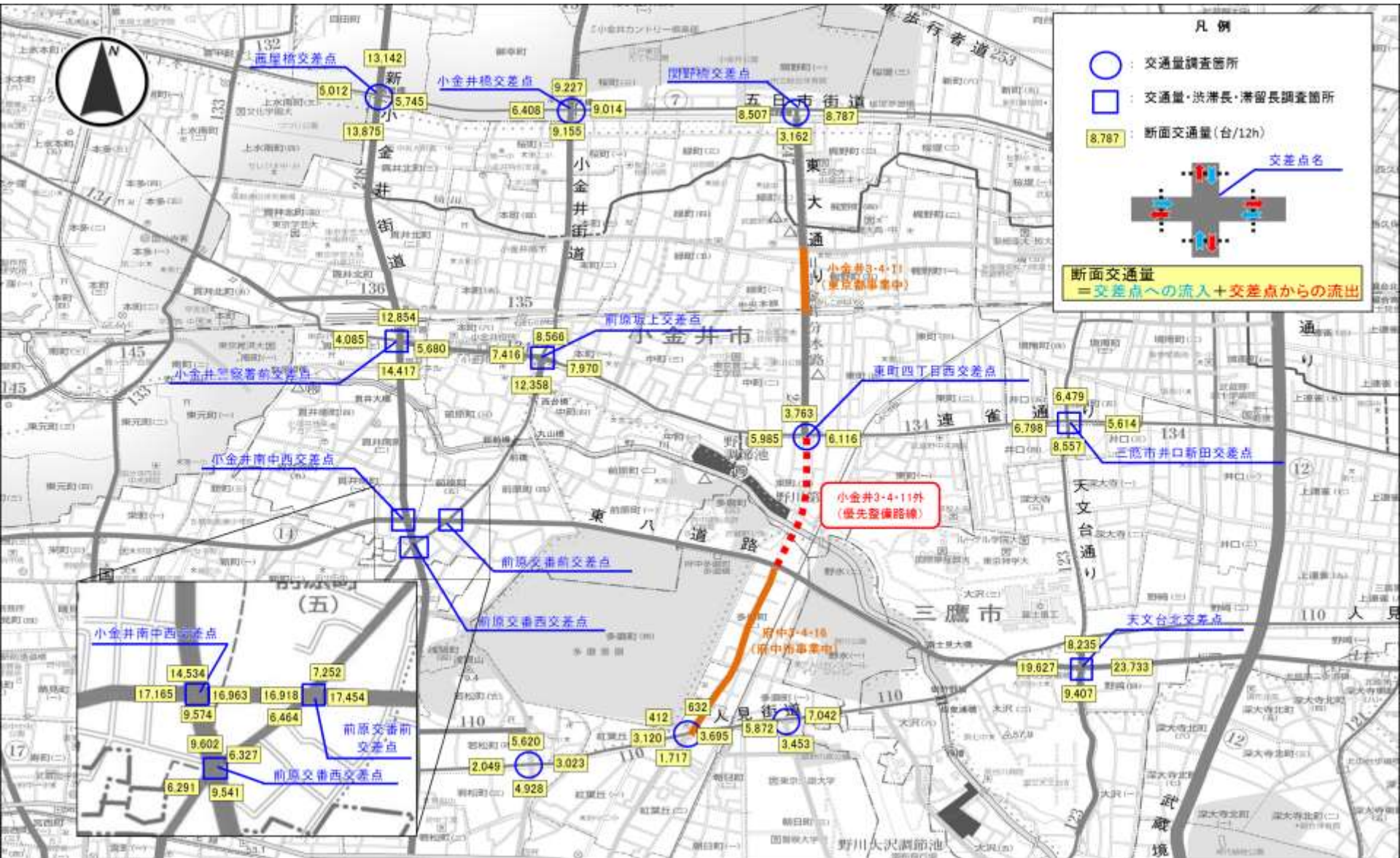
交通量調査(自動車類、歩行者類)	7箇所
交通量調査+渋滞長・滞留長調査	7箇所
交通量・ナンバープレート調査	8箇所

交通量調査箇所図

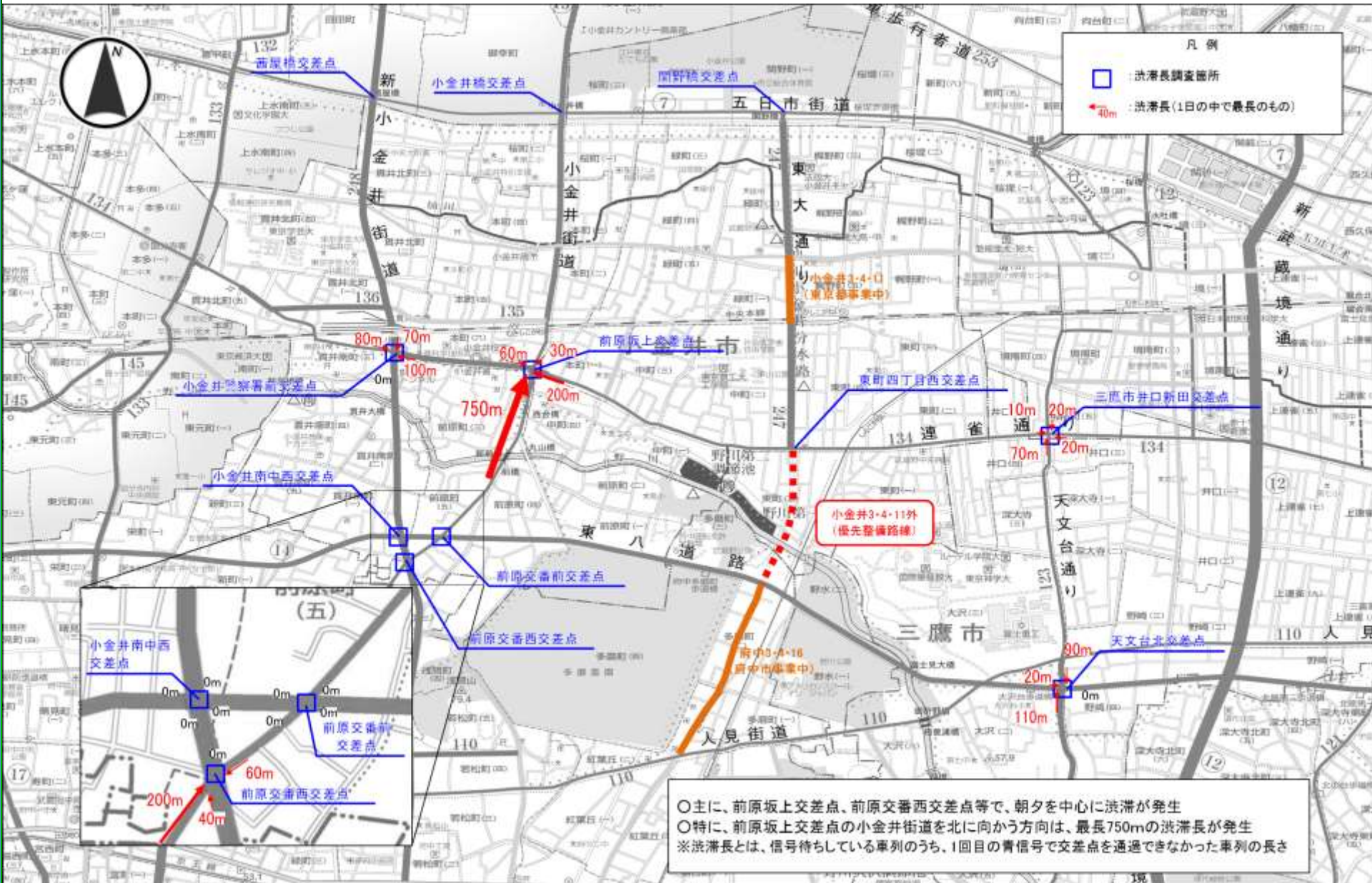
調査日：平成30年11月27日(火)、平成30年12月2日(日)



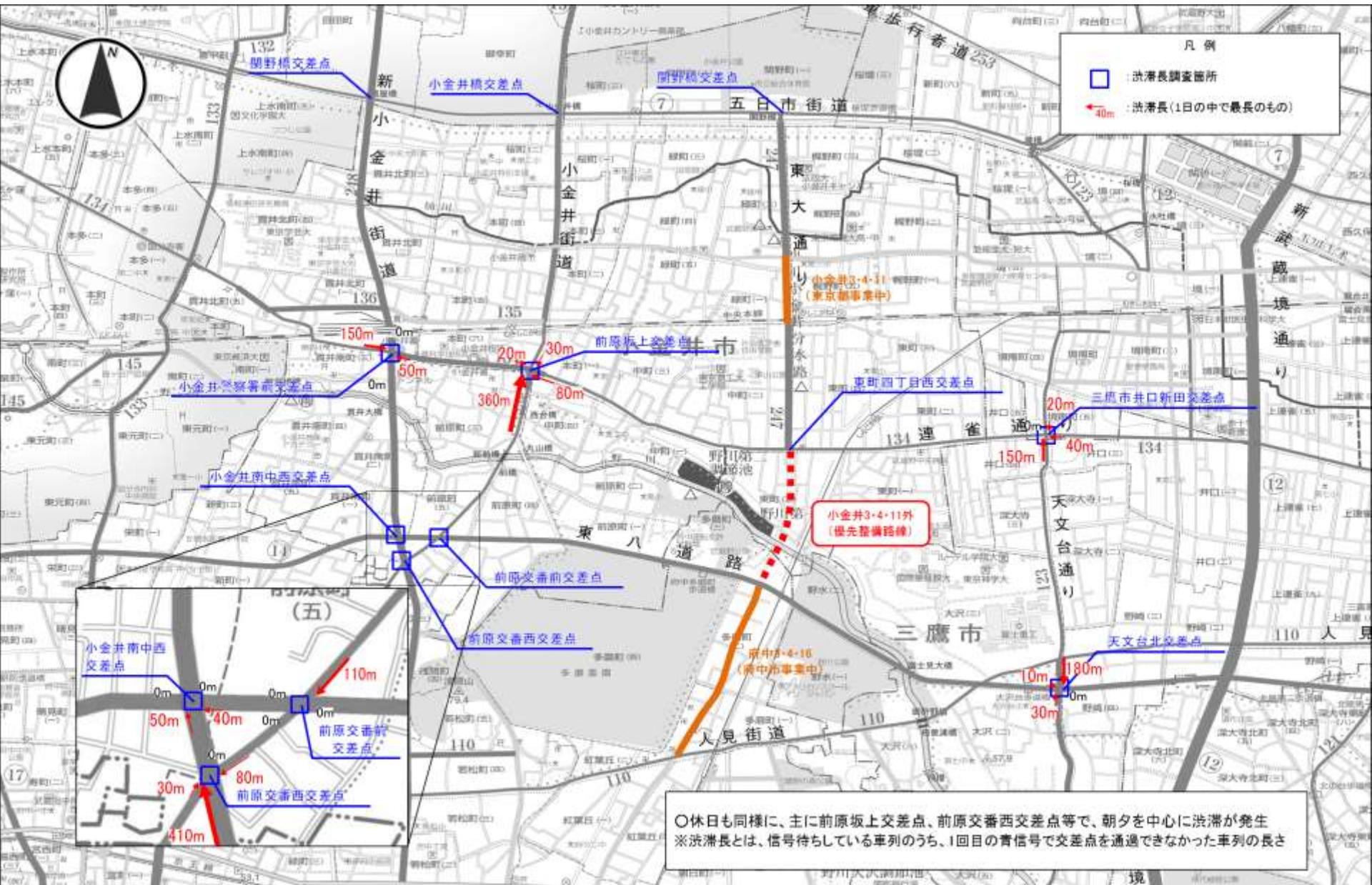
平成30年12月2日(日) 7:00~19:00 12時間交通量調査結果(休日)



平成30年11月27日(火) 渋滞長調査結果(平日)



平成30年12月2日(日) 渋滞長調査結果(休日)



平成30年11月27日(火) 6:00~18:00 交通量・ナンバープレート調査結果(平日)

単位: 台/12h(自動車類)



N1	交通量		通過交通	
	流入	流出	台数	割合
	862	259	30.0%	
合計	862	259	30.0%	



N2	交通量		通過交通	
	流入	流出	台数	割合
	557	141	25.3%	
合計	557	141	25.3%	



N3	交通量		通過交通	
	流入	流出	台数	割合
	361	193	53.5%	
	411	175	42.6%	
合計	772	368	47.7%	

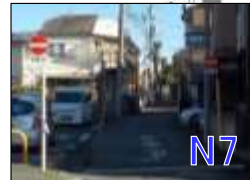


N4	交通量		通過交通	
	流入	流出	台数	割合
	323	194	60.1%	
	444	267	60.1%	
合計	767	461	60.1%	



N8	交通量		通過交通	
	流入	流出	台数	割合
	601	309	261	43.4%
		77	24.9%	
合計	910	338	37.1%	

N7	交通量		通過交通	
	流入	流出	台数	割合
	215	53	24.7%	
合計	215	53	24.7%	



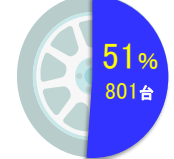
凡例

- 想定される通過交通ルート ※線の太さは通過交通量の多少
- 各調査地点に流入する交通
- ← 各調査地点から流出する交通

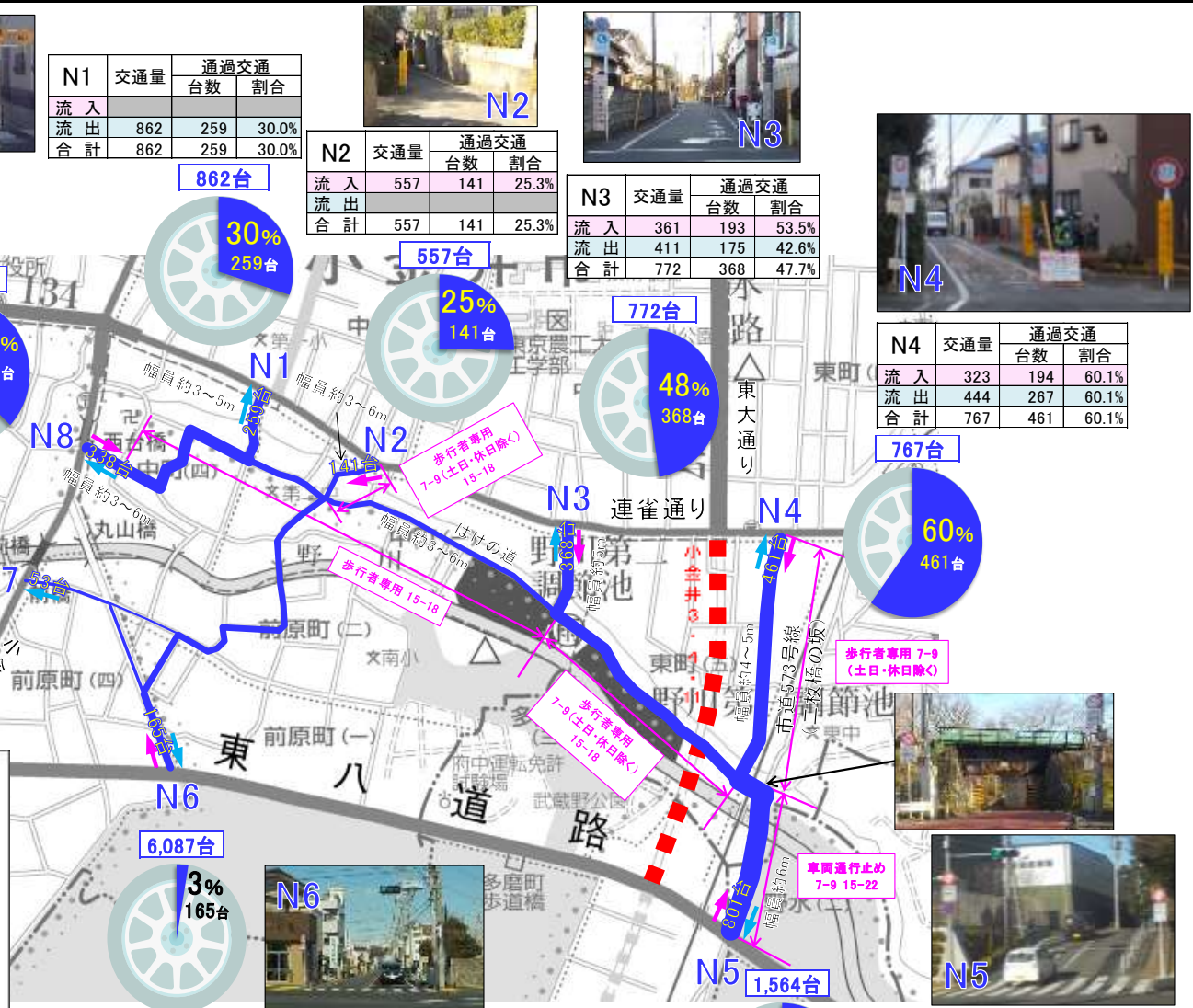
総交通量

【ナンバープレート調査】
各調査地点で流入する車両と流出する車両の時刻とナンバーを照合し集計。想定される通過交通ルート(青線)を、平均時速10km以上で走行し、区域外に出た車を通過交通として判定

N6	交通量		通過交通	
	流入	流出	台数	割合
	2,727	93	3.4%	
	3,360	72	2.1%	
合計	6,087	165	2.7%	



N5	交通量		通過交通	
	流入	流出	台数	割合
	743	411	55.3%	
	821	390	47.5%	
合計	1,564	801	51.2%	



平成30年12月2日(日) 6:00~18:00 交通量・ナンバープレート調査結果(休日)

単位:台/12h(自動車類)



N1	交通量	通過交通	
		台数	割合
流入		181	27.8%
流出	652	181	27.8%
合計	652	181	27.8%



N2	交通量	通過交通	
		台数	割合
流入	462	171	37.0%
流出		171	37.0%
合計	462	171	37.0%



N3	交通量	通過交通	
		台数	割合
流入	253	169	66.8%
流出	332	183	55.1%
合計	585	352	60.2%

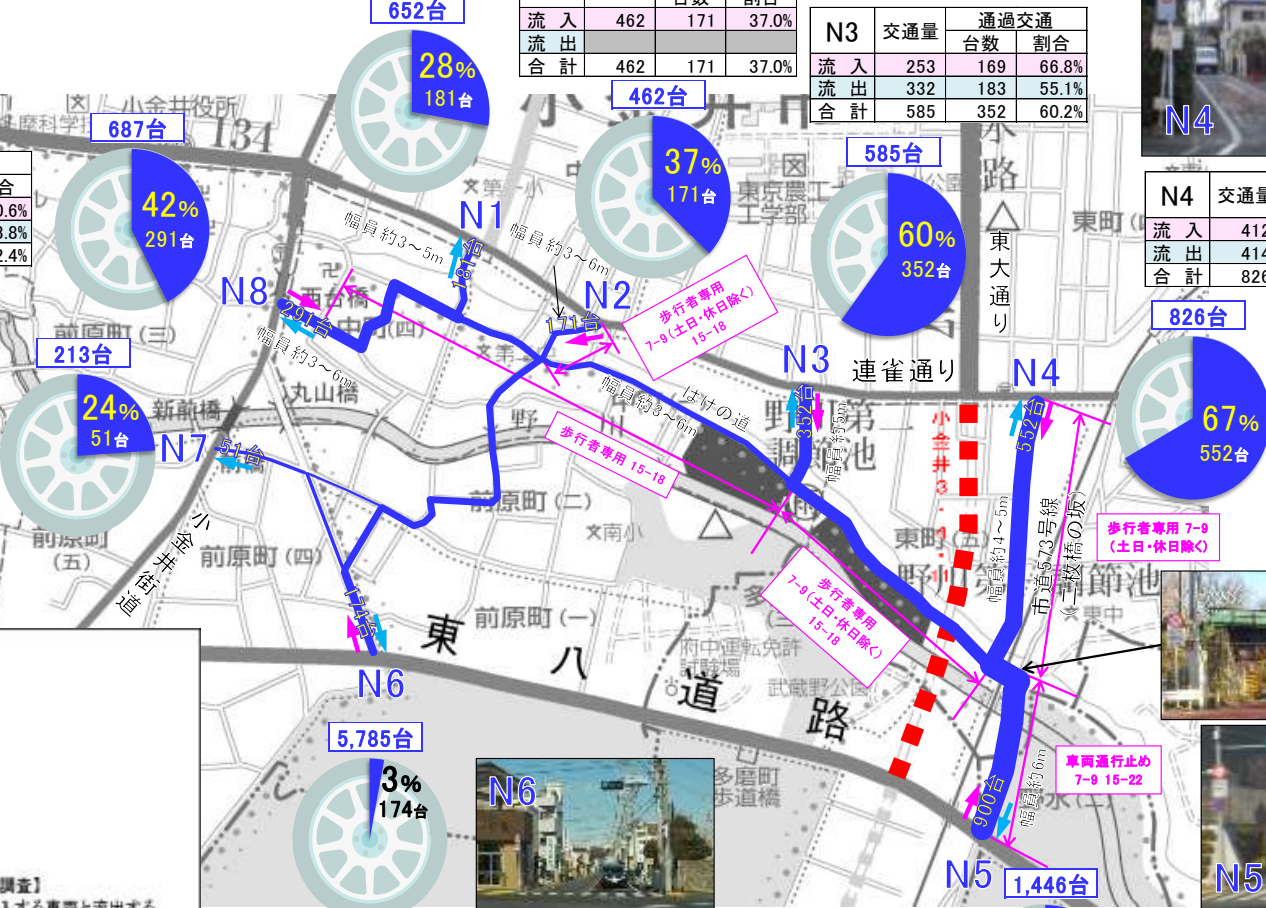


N4	交通量	通過交通	
		台数	割合
流入	412	295	71.6%
流出	414	257	62.1%
合計	826	552	66.8%



N8	交通量	通過交通	
		台数	割合
流入	350	177	50.6%
流出	337	114	33.8%
合計	687	291	42.4%

N7	交通量	通過交通	
		台数	割合
流入		51	23.9%
流出	213	51	23.9%
合計	213	51	23.9%



凡例

- 想定される通過交通ルート
※線の太さは通過交通量の多少
- 各調査地点に流入する交通
- ← 各調査地点から流出する交通

総交通量



【ナンバープレート調査】
各調査地点で流入する車両と流出する車両の時刻とナンバーを照合し集計
想定される通過交通ルート(青線)を、平均時速10km以上で走行し、区域外に出た車を通過交通として判定

N6	交通量	通過交通	
		台数	割合
流入	2,717	93	3.4%
流出	3,068	81	2.6%
合計	5,785	174	3.0%

N5	交通量	通過交通	
		台数	割合
流入	685	431	62.9%
流出	761	469	61.6%
合計	1,446	900	62.2%

小金井 3・4・1 1号線に関する
これまで頂いた主な意見への回答

小金井3・4・1 1号線に関する これまで頂いた主な意見への回答

- ① 都市計画道路の必要性について
- ② 優先整備路線の選定について
- ③ 計画の見直しや廃止を議論できる場を求める
- ④ 都市計画道路の在り方に関する基本方針の検討対象路線とすべき
- ⑤ 都市整備局の出席について
- ⑥ 第四次事業化計画策定の際のパブリックコメントについて
- ⑦ 知事の考えについて
- ⑧ 都市計画決定手続きについて
- ⑨ 人口減少社会における道路整備について

① 小金井3・4・1 1号線の必要性について

平成28年3月に策定した「東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)」では、「**将来都市計画道路ネットワークの検証**」を実施しており、当該区間については、15の検証項目のうち、

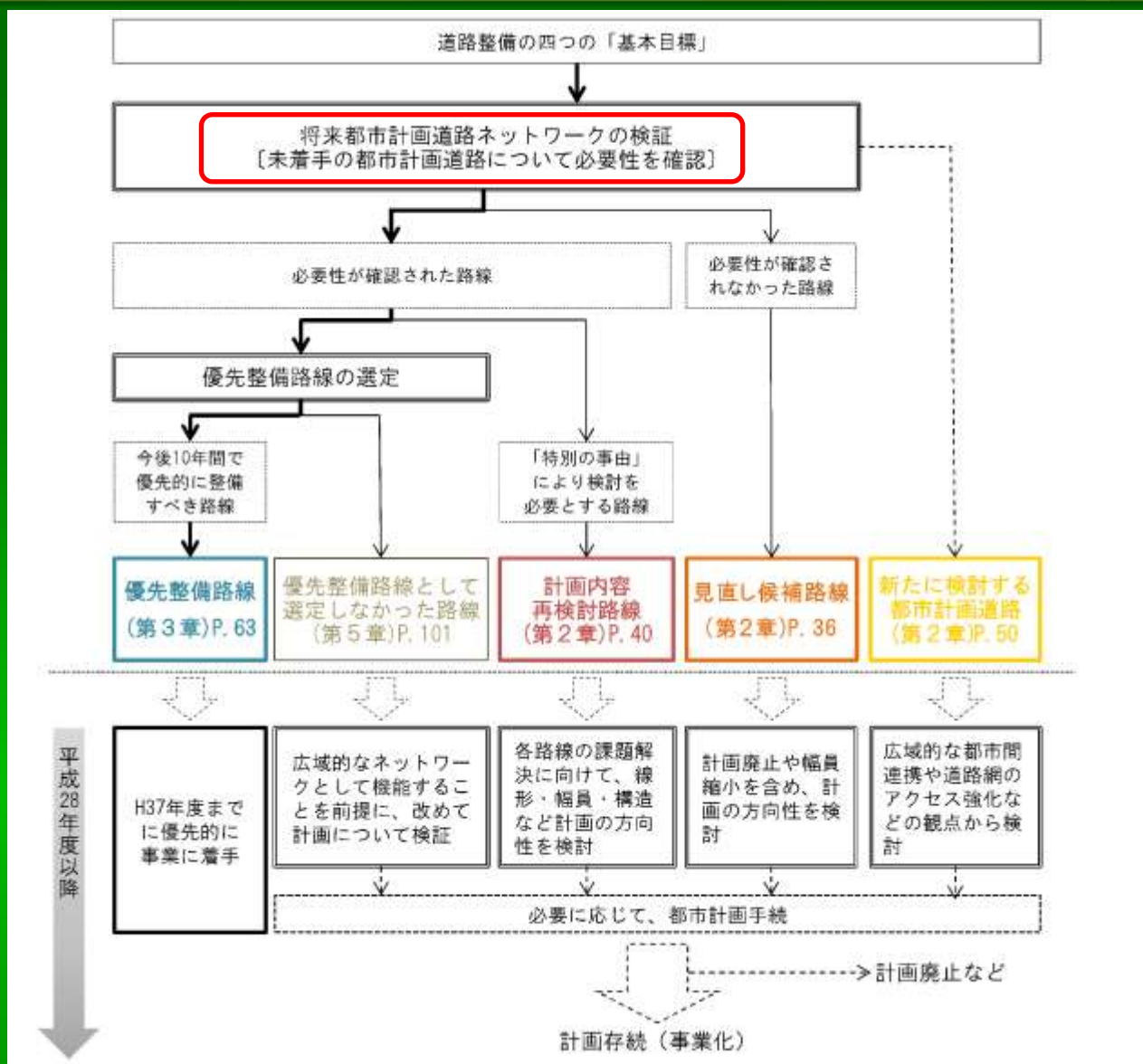
「**交通処理機能の確保**」

「**避難場所へのアクセス向上**」

「**延焼遮断帯の形成**」

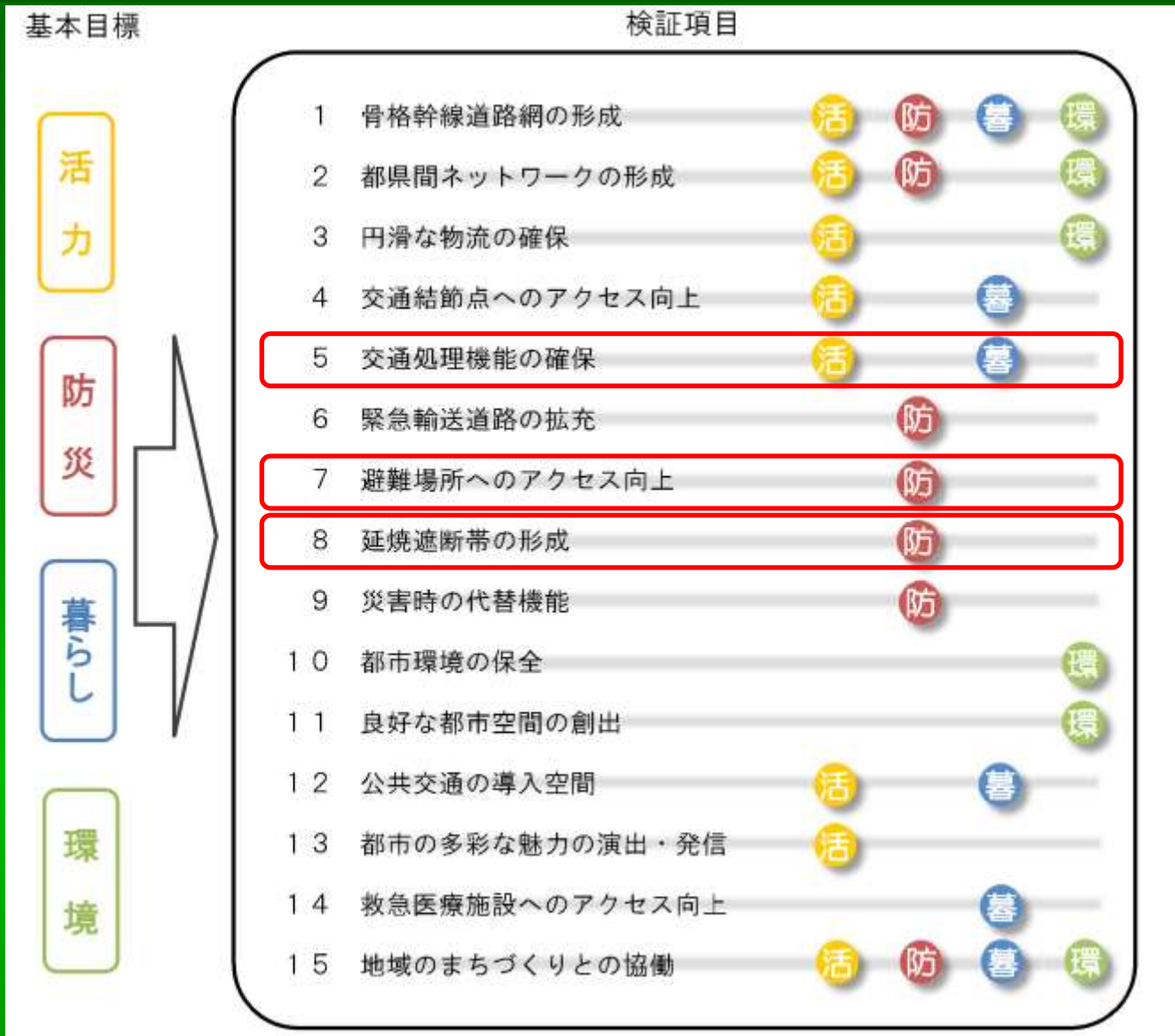
に該当したことから、今後も必要な都市計画道路であると判断しました。

「東京における都市計画道路の整備方針」検討の流れ



出典：東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）
（東京都・特別区・26市2町 平成28年3月）

将来都市計画道路ネットワーク検証の検証項目



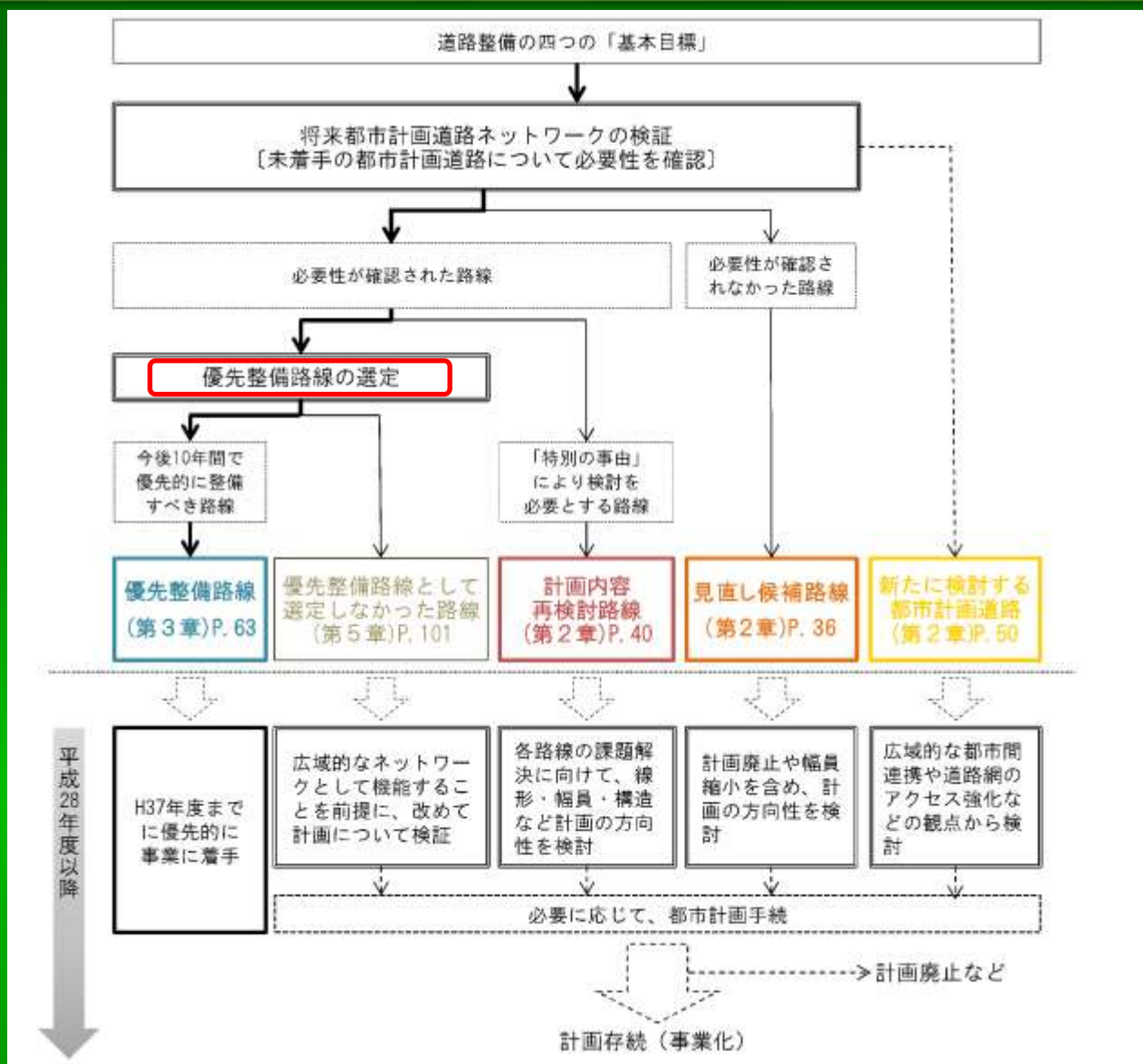
出典: 東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)
(東京都・特別区・26市2町 平成28年3月)

② 優先整備路線の選定について

優先整備路線は、「将来都市計画道路ネットワークの検証」において、必要性が確認された都市計画道路の中から、重要性・緊急性を考慮し、今後10年間（平成28年度から平成37年度まで）で優先的に整備すべき路線として選定しました。

当該区間については、設定した六つの選定項目のうち、「自動車交通の円滑化」に該当することから優先整備路線に選定しました。

「東京における都市計画道路の整備方針」検討の流れ



出典：東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)
(東京都・特別区・26市2町 平成28年3月)

優先整備路線の選定の考え方



③ 計画の見直しや廃止を議論できる場を求める

当該区間については、第四次事業化計画において、「将来都市計画道路ネットワークの検証」を実施し、必要性が確認されており、重要性・緊急性を考慮し、優先整備路線に選定しました。

このため、当該区間の都市計画の廃止や優先整備路線から除外することは考えていません。

④ 都市計画道路の在り方に関する基本方針の 検討対象路線とすべき

第四次事業化計画では、将来都市計画道路のネットワークの検証、すなわち「つなぐこと」について必要性を検証しています。

都市計画道路の在り方に関する基本方針の検討では、この検証を前提とした上で、概成道路における拡幅整備の有効性や立体交差計画の必要性など、都市計画道路のつなぎ方について検討しています。

このため、優先整備路線である当該区間については、都市計画道路の在り方に関する基本方針の検討対象ではありません。

⑤ 都市整備局の出席について

優先整備路線である当該区間については、事業を所管している建設局がこれまでの経緯を含め、住民の皆様説明する責務を担っています。

このため意見交換会等については、建設局主催で開催することとしており、都市整備局の出席については考えていません。

⑥ 第四次事業化計画策定の際の パブリックコメントについて

第四次事業化計画を策定する際に実施したパブリックコメントでいただいた意見・提案に対する都の考え方・対応については、「**現地の地形や自然環境等を踏まえ、整備形態等について適切に対応するとともに、地元説明を実施するなど、事業化に向けて、適切に取り組んでいきます。**」との考え方を示しています。

これらを踏まえ、自然環境や景観などに関する調査検討を実施し、意見交換を重ねるなど、丁寧に対応していきます。

⑦ 知事の考えについて

平成28年第三回都議会定例会の一般質問において、

- 広域避難場所へのアクセス向上や地域の安全性向上に資する重要な路線であること。
- あわせて、環境に配慮することも重要であること。
- 道路整備に当たり、さまざまな意見があることは承知していること。
- 今後、道路の果たす役割や機能、環境にどう配慮するかについて、市民との意見交換の場を設けて、丁寧に対応を行うこと。

以上のことを答弁しています。

⑧ 都市計画決定手続きについて

小金井3・4・11号線は、国が都市計画決定し、告示されており、当時の法令に基づき、適切に
手続されたものと認識しています。

⑨ 人口減少社会における道路整備について

人口減少の時代にあっても、将来にわたり東京を持続的に発展させていくためには、広域的な交流、連携や高度な防災都市などを支える都市計画道路ネットワークの充実が不可欠であり、必要な道路は着実に整備していきます。

なお、第四次事業化計画の策定にあたって予測した将来交通量は、広く一般に用いられている予測手法を活用し、将来の人口配置や経済の動向などが考慮されています。

今後の意見交換の進め方

意見交換の形式を変更する理由

平成29年度に開催した意見交換会や説明会において、意見を伺うことができなかった参加者の方が多数いました。

また、意見交換会の目的である「整備に当たって、環境や景観への配慮などについて」の意見交換も実施できませんでした。

このため、今後は、より多くの方々と個別にお話ができ、様々な意見を伺うことができるようオープンハウス型の説明会を開催することとしました。

オープンハウス型の説明会とは

～都が実施したオープンハウス型の説明会事例～



出典：東京都建設局HP(東武鉄道東上本線(大山駅付近)連続立体交差化計画及び関連する道路計画と大山駅の駅前広場に関するオープンハウスの実施結果)

今後の予定

整備にあたり、環境や景観への配慮などについて検討を行うためには、まず、環境現況調査が必要です

オープンハウス型の説明会では、環境現況調査の内容について、皆さまからのご意見を伺いたいと考えております。

いただいたご意見を踏まえ、環境現況調査を進めていきます。